



LONGIN

We create in Tokyo Japan since 2011

WEB MAGAZINE Vol.



その泳ぎ、
全てを感知する！



わずかな流れの存在も把握する
センシティブ・サーチベイト誕生

FRANKY

—フランキー—

120mm 20g Floating 1,995円(税込) 新発売!

フランキーは、流れの強い河川から干潟などの広大なシャローエリアを広くカバーし、効率高く探るためのサーチベイトとして開発されたシャローレンジ専用ミノー。フランキーの游行深度は水面直下から60cm。潮の干満による潮位の変化や、リアクションの変化に瞬早く広く対応するためのレンジ設定です。

水揺きが強くアピールの大きな泳ぎでありながら、ボディシェイプとウエイトバランスの絶妙なバランスを追求することで、強い流れに対してもリップレスミノーのように水を受け流すことで引き重りなく巻いてこられる使い勝手の良さと、シーバスを魅了するハイアピールアクションというふたつの要素を両立。それぞれ大ききの異なる高比重タングステンウェイトボールを4個使用し、更に移動玉を固定するためにマグネットを装着する事で、安定した抜群の飛距離とハイアピールで切れのある泳ぎを同時に実現しました。低速巻ではロールアクション、中速巻ではタイトウォブロール、高速巻になると超ハイアピールワイド系ウォブロール。絶妙なボディ形状により、強い流れでも飛び出さないよう設定。リトリブ速度に応じて可変アクションを誘発させ、流れの変化を敏感に感知すると同時にアクションの変化で自然な食合わせの間を演出します!



カラー(並上から): 022ブルー・マイアワシ(ドクベリ) (シャーンベロ)、023コノシロ(プレーンベロ)、024ボラ(レンズベロ)、025レンズキャンディー(銀粒ウメ)、026金ボラ(メッキ)、027チャートゴールド(ブルーキャンディー(マグマ)、028ボクワリア(クワアマグマ)、029チャートパールオレンジ(クワアマグマ)、030クワリアパール(クワアマグマ)、031レッドヘッド(銀粒パール)

ロンジン新製品『フランキー』の秘密を
ルアービルダー伊藤仁にインタビュー！

製ロ品開発物語

2

Text by 太田隆太郎

フランキーはどうして作られた？

フランキーのファーストサンプルを作り出したのは、ちょうどジnPENのテストをしている時期でした。水面直下をイレギュラーにバタつくアクションが活性の低い魚に強くアピールすることをジnPENを作る過程で確信し、活性の低い魚にもっとゆっくりアピール出来るルアー、水面直下を強く泳ぐルアーを作ろうと思ったのをきっかけにフランキーの開発は始まりました。

今までのルアー以上に数多くのテストを重ねる中で、水面直下を強く泳ぐバタバタ系のルアーは使用する場所や状況、タイミングなど、とても狭い状況下でしか活躍できないこともよりわかってきました



が、逆を言えばシチュエーションさえ合えば圧倒的な威力を発揮することも事実です。

しかし、狭い状況下でしか活躍できないということは、使い勝手の悪いルアーでもあるということに変わりありません。そこで、このアピール力（泳ぎの質）を残し、アングラーの操作によってレンジをコントロールし易いルアーへと軌道修正していきました。

現場と工房の往復を繰り返し、現場で釣りながらリップを削ったり、アイの調整など出来る範囲のことは色々なアイデアを試行錯誤しながら現場で調整。それでもダメなら釣りの途中でもすぐ工房に戻って何個も修正サンプルを作り直しては現場でまた調整。河川や干潟、漁港、磯などでトライ&エラーを繰り返し、とても濃密な開発期間を経てフランキーは完成しました。

なかなか辿り着けない理想の形

アピール力の強いアクションを出すためにはボディ形状、リップ形状、ウェイト配置など全てにおいてどうしても飛距離が出にくい設計になってしまいます。僕が作ろうと思い描いたフランキーはファット



理想の動きを再現するため、現場で手を加えては投げたの繰り返し。サンプルがいくらあっても足りなかった。

でバンドカーブの強いボディ形状。そして垂直に立ったリップ形状で、強いアクションを出すには最適な形状になっていますが、まさに飛距離が出にくい形そのものでした。

理想のアクションを出そうと思えば思うほど飛距離が出づらくなるデメリット



が増えていきます。ベンドカーブが強くなると風の影響を受けバランスを崩しやすくなります。真っ直ぐ飛びづらい形状に加えて垂直のリップがきっかけを掴みやすいため、簡単に失速してしまい飛距離が出ない……。

現在のシーバスシーンでは飛距離は絶対条件。飛距離が出るようにウェイト配置をずらしていく

と、カッ飛びといえるほどの飛距離を簡単に達成できますが、フランキーの求めているアクションが完全に無くなってしまいます。でもアクションだけにこだわっていくと飛距離が全く出ない。そんな堂々巡りな矛盾をクリアすることが楽しくもあり、長い道のりでした。

最終的には試行錯誤の上、飛距離、アクションともに理想通りの物が出来ました。完成間近に積み上げられたとてつもない数のサンプルの山には自分でもビックリしました。

独特なリップ形状の意味は？

フランキーは、あごの下から垂直に立った扇状に広がるリップ形状、そしてリップの中心にはディンプル（くぼみ）が搭載された独特



↑金型を作るまでのサンプルは、全て伊藤が手で削りだしたものを使用する。今回作製したウッドサンプルの数は、かつてない膨大な量となった。
 ◀作られたリップパターンのごく一部。まさに伊藤の執念を感じる。



ルアービルダーの仕事は、カラーラインナップが決まった段階でやっと一息。仕上がりは良好。あとは発売後に皆様からの評価を待つばかり！

な形状になっています。リップを垂直にした理由は、水を早く捉える（水流を感知しやすくする）動き出しを早くすると同時に、レンジキープ力を高めるため垂直にしてあります。

ディンプルはくぼみを付けることでグリップ力（水の捉え）をより強くさせ、水の捉えが強くなることで泳ぎが強くなり、アクションの幅が広がることでメリハリのある可変アクションを生み出します。

ボディに隠された特徴とは？

フランキーの最大の特徴はリップや外見ではなく、実はウェイト配置に隠されています。重さの違うタングステンウェイトを4個採用し、重心移動ウェイトの自由を制限し泳ぎのバランスをとるためにマグネットも搭載。4個ものタングステンを使用している中でも、もっとも大きいウェイトを後方に固定配置。このウェイト配置に設定した理由は3つあります。

1つ目はシャローレンジを長くキープできるようにするためです。後方に固定の重心を持っていくことで、浮き姿勢が90度くらいのお



尻下がりになります。お尻下がりになることで潜水力を無くし、シャローレンジを長くキープさせているのです。

2つ目はイレギュラーを誘発させるためです。流れの変化の中でイレギュラーアクションを出やすくするため、フランキーはベンドカーブの強いボディ形状と垂直に立ったリップを持つことで、左右に大きく振りの強いアクションになっています。フランキーの形状に後方固定ウェイトを配置すると、大きく動こうとする力を後方ウェイトの遠心力が邪魔をして、流れやリトリーブ速度によって変化（イレギュラー）が出やすくなるのです。

3つ目は飛距離を伸ばすためです。飛距離とアクションを同居させるための矛盾を解消するためにいちばん苦労した要素は、大きなウェイトを後方に固定することでキャスト時に水平を保つように微調整を繰り返し、重心移動のタングステンと相まって広範囲を探れるサーチベイトとして申し分ない飛距離を実現しました。

全てを感知し、流れを伝える!

フランキーがサーチベイトたる所以は、リトリーブスピードや流れの変化に機敏に反応すると共に、アクションを可変させることです。



左/金型作製後のテストは順調だったが、細かいところまでこだわり抜くために金型修正回数は通常のルアーの倍近く行われた。右/ウッドサンプルからインジェクションサンプルまで、フランキーにはこれだけのバリエーションが作られた。



テスト中はシーバスはもちろんだがマゴチもよく釣れた。フランキーは魚種問わずフィッシュイーターには効果抜群だ！

アクションの変化がアングラーに水流の変化を知らせるとともに、その変化するタイミングがシーバスのバイトを誘発します。

フランキーの潜行深度は、水面直下から60cm。使い方は投げて巻くだけです。低速巻ではロールアクション、中速巻ではタイトウォブンロール、高速巻になると超ハイアピールワイド系ウォブンロールへと変化します。強い流れでも飛び出さないよう設定しているので、河口などの強い流れの中でダウンに流しても全く問題ありません。

ネーミングの由来は意外にも？

完成間近の実釣テスト終盤になっても名前が全く決まっておらず、釣りをしながら仲間内で名前を考えていた時のことです。

そのとき使っていたサンプルは、修正作業が追いつかず何個ものルアーを継ぎ接ぎにして作った、とてつもない手間のかかったものでした。それを見た誰かが「フランケンみたいだ！」と言ったのがキッカケとなり、フランケンだと



フランキーというネーミングの元になったサンプル。頭部、胴部、尾部が異なる3つのサンプルが合体している。



ちょっと硬すぎるな……ということでフランキーな感じは？ じゃあ「フランキー!!」と、とてもラブな感じで名称が決定しました。

ビルダー伊藤渾身の作品!

広大なシャローエリアを広くカバーし、効率よく探るためのサーチベイトとして最初に投げてもらいたいルアーとして開発したフランキーは、流れの変化を感知しやすい設計になっていますので、その日のパターンや状況把握、流れを探る際に活躍するルアーです。エリアとしては大型河川の河口や干潟など広大なエリアに対応します。

最後になりますが、20年以上ルアーを作り続けてきた中でも、今回開発したフランキーはサンプルの数、金型修正回数など全てにおいて苦勞の多いルアーになりました。しかし、隆太郎をはじめスタッフ協力のもとアクション、飛距離ともに思い描いた100%のものを完成させることができました。

ベテランアングラーはもちろん、シーバスをはじめたばかりの人にもガンガン使って遊んでいただけたら幸いです。これからもアングラーの皆様にご信頼していただけるルアー作りを心がけ、立ちはだかる矛盾を打破するために苦悩しながらも、製品作りを楽しみながらルアー開発をしていきます!



伊藤 仁 (いとう・ひとし)

株式会社LONGIN.代表。19年間勤めたルアーメーカーから2011年に独立し、株式会社LONGIN.を立ち上げる。今年第5弾製品となるFRANKYが新発売。現在は次回リリース予定の製品のテスト真っ最中!

LONGIN. が贈るフリーペーパー

ロンジンマガジン Vol.2

弊社製品取扱店にて絶賛配布中です!



LONGIN
We create the best fishing gear in Japan since 2011

**井上ゆうきが語る
キックビートの魅力!**

スピンシャルインテグリュ―
シリーズに必要不可欠なハイパフォーマンスには、
シールレスケールにこだわったハイパフォーマンスには、

トランプを本気で楽しむがアソビ
トップウォーター
ゲームのススメ

これを知らねばもどめ
ジョイントルアーで
パチゲーム徹底攻略!

伊藤インタビュー
製品開発物語②
フランキー誕生秘話

山内勝己ファーストインプレッション!
欲しかったルアーは
釣れるサーチベイト!

今号は3冊の新色も追加
2013年の最新情報満載!

UOL

昨年刊行された弊社刊
のフリーペーパー
『ロンジンマガジン』第2
号がいよいよ配布開始!

前号より大幅にボリュー
ムアップした今号は、新製
品フランキーのインプレや
制作者・伊藤による開発秘
話、ジンペンやプレックス
を使った攻略法、そしてあ
の有名アングラー・井上ゆ
うきさんによるキックビート
の解説も収録!

さらにロンジン全製品の
カタログも掲載。カタログ
ページではキックビートの
2013 新色ラインナップを
WEB に先駆けて、いち早
く紹介しています!

弊社代表の伊藤も愛読書
としているロンマガ2号、
ぜひ店頭にてお手に取っ
て下さい!(ロンマガ1号は
メーカー在庫切れしてお
ります。ご了承下さい)

ロンジンマガジン Vol.2

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5 版 24 ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中
(数に限りがありますので、品切れに
よる配布終了の際はご容赦下さい)



LONGIN

INCORPORATED IN TOKYO, JAPAN SINCE 2011

WEB MAGAZINE VOL.8

発行日：2013年3月26日

株式会社 LONGIN.